

# みかわさ

2013年2月

第48号

浄土真宗本願寺派  
福岡教区御笠組



## 四門出遊

(パキスタン・ガンダーラ)2~3世紀 『ガンダーラ美術とバーミヤン遺跡展』より

釈尊（お釈迦様）はカピラ城を首都とするシャカ国の王子として何不自由なく育てられ、学問・武芸に秀でた才能を持つ後継者として順調に青年期を過ごしていました。ある時、従者チャンナの引く愛馬カンタカに乗り城外へ出かけました。すると前方に、人を見て「あれはいかなる人間か」と尋ねます。「あれは老人です。人は長く生きるとあのような姿になるのです」と聞き、驚きすぐに城へ戻り思ひ悩みました。「私も老いとい性質をもつものだ」と。また別の日は路上で苦しむ病人に、さらにはまた火葬へ向かう死人に出会い、自分自身も病み死にゆくものと知り、思い悩む日々を送っていました。そんなある日、王子は穩かで落ち着き清らかな姿の沙門に遭遇します。「真の幸せとは一体何か。私もある方のように老病死を生き抜く智慧を求め、出家し修行に励みたい。」図の右側馬に乗っているのが王子。左側に杖をつく老人と、座りこむ病人が見えます。

題字：小山実千代（伯東寺坊守）



## 圓徳寺巡番報恩講

平成二十四年度御笠組巡番報恩講法要に想う

圓徳寺門徒  
笠 徹也(釋諦觀)

平成二十四年十月二十七・  
二十八日、圓徳寺にて御笠組巡  
番報恩講法要がお勤めになりました。

三年前より新旧役員、世話  
人、仏教婦人会で実行委員会  
を作り準備を始めました。皆  
さん初めての事で戸惑いました  
が、総代会長がリーダーシップ  
を發揮し皆を引っ張ってくれ  
ました。また各委員さんも氣  
持ちよく協力して頂き当日を  
迎えました。

何より心配したのは天候で  
した。昨年一昨年と統いて雨だ  
ったので稚児行列が心配でした。  
二十八日の朝までぐずつき  
天気になり胸を撫で下ろしま  
した。稚児宿から仏旗を持って  
先導しながら、み仏の教えに出  
遇うご縁を頂いたことに慶び  
を感じました。

参加した子どもたちも、この  
日のことを大人になつて思い出  
してくれるかな、たとえ一日で  
も仏縁に遇つたのは幸せなこ  
とです。又いつの日かお寺に足  
を運んでくれることを、切に願  
っております。

ご法話の講師には圓徳寺住  
職の恩師の高田慈昭師におい  
ていただき、大阪弁で軽妙でユ  
ーモアあるご法話をご聴聞致  
しました。

最後に不勉強な私共を熱心  
にご指導いただきました御法  
中様に心よりお礼申し上げま  
す。なお、不慣れで行き届かなか  
つたことをお詫び申し上げ、  
十八年後に巡り来るこのご縁  
を、若い人達に受け継いで頂け  
たら幸です。

合掌



合掌礼拝の生活

**お仏壇のコガ**

太宰府店 [駐車場完備]  
太宰府市都府楼南1丁目1-32 ☎(092)923-8080

## 積善社 筑紫斎場

太宰府市吉松4丁目6-1 (青葉台入口信号角)

**0120-14-0789** (フリーダイヤル)



## 「永代経法要」とは？

願応寺住職 中川 清昭

私たちのお寺では、「報恩講法要」とならんで大切な法要の一つとして「永代経法要」がお勤めされます。御笠組の各寺院

では、四月から五月にかけてお勤めされるようですが、全国的に見ると、お勤めされる時期に決まりはないようです。寺院によっては、春と秋など年に二回以上お勤めされることもあるようです。

さて、この「永代経法要」について、ご門徒の方から「永代経」とはどのようなお経ですか、と訪ねられることがあります。実は、「永代経」とはお経の名前ではありません。

そこで、「お経（經典）とは何か」から考えてみましょう。仏教を開かれたのは、お釈迦様ですが、お釈迦様は、ご自身のおさとりの内容を聞く人の能力に応じて、お説法すなわち言葉で伝えられました。また、悩める人々にも、その悩みに応じて言葉で解決されました。従って、そのお説法は、膨大な数にのぼります。そのお説法を聞いたお弟子様方が、その言葉通りに人々に言い伝えることによって、仏教は広がって行きました。お釈迦様がご在世の間は、言葉が曖昧になったり、意味が分からぬときは直接お釈迦様に尋ねることができました。しかし、入滅された後は、確認することが出来ません。このままではお釈迦様のお説法が消えてしまう、と憂慮されたお弟子様方が集まり、お説法を後世に正しく伝えるために、文字として残すことを考えられました。お釈迦様ご一代のお説法が、後のお弟子様方の努力によって文字になり、現代まで伝わってきたのが「お経（經典）」なのです。先述の通り、お説法の数が膨大ですから、当然「お経」の数も膨大になり、「八万四千の法蔵」（『御文章』）ともいわれます。その膨大な中から、親鸞聖人は、「浄土三部経」を選ばれ、浄土真宗の中心のお経とされました。

さて、仏教は、インドで興り、中国を経て日本まで伝わってきました。その間には、幾多の人びとの血のにじむような努力があったことを忘れてはなりません。

中国からインドまで険しい山々を乗り越え、お経を学び、持ち帰り、翻訳という大仕事をなさつた人びとがありました。あるいは、嵐の海を渡り、中国と日本を往復し、日本までお経を伝えて下さった方々もありました。途中、様々な理由で力尽き亡くなられた方々も少ない数ではなかつたことでしょう。日本においては、仏教に対する弾圧もあるなか、命がけでお経を守り続けて下さった方々もありました。日頃何気なく頂いている「お経」には、このような先達のお力、歴史があったのです。

「永代経法要」とは、先達の血のにじむようなご尽力に感謝し、しっかりと「お経」を受け継ぐことを願いとした法要です。さらに大切なことは、自分の責任において、次の世代に「お経」を確実に伝えていくことを阿弥陀さまにお誓いすることです。

草苑  
[SOUEN]

美しが丘 TEL 092-919-0880 FAX 092-919-0881  
草苑 筑紫野市美しが丘北3丁目12-4



御墓石・記念碑・造園・石材加工・その他石工事  
設 計 · 施 工  
石のことなら気軽に御相談下さい。

(有)矢ヶ部石材

代表取締役 矢ヶ部 清隆  
筑紫野市大字本道寺106-4 ☎ 924-5574  
(FAX) 924-8212



名取地区日和山

西蓮寺 門徒推進員 入江一孝(釋現教)

福岡教区の重点プロジェクト実践目標「災害支援：東日本大震災をはじめとする被災者への支援」を、門徒推進員として、街頭募金を行い、また現地へ訪れボランティア活動に参加させて頂きました。

二〇一二(平成24)年九月十二日に天神パルコ横で街頭募金(義援金・支援金)を行い、三十名近くの僧侶、門徒が通行人に趣旨を伝え協力をお願ひいたしました。

二〇一二(平成24)年十一月二十日から二十二日までの現地ボランティア活動では、一日目(20日)は、津波被災地を訪ね被災者との傾聴ボランティアを行い、生徒児童が亡くなられた閑上中学校にて参加者全員で読経させていただきました。二日目(21日)は、本願寺仙台別院東北教区災害ボランティアセンターにて18名(福岡教区参加者)が三班に別れ現地の津波復興支援センターを訪れ、農地復旧復興支援及び、写真洗浄整理をさせて頂きました。活動内容は、塩害にあつた畠の瓦礫取り出し、畠の掘り起し、大工作業、被災写真の泥落し、洗浄等でした。私は仙台市若林地区での農地復旧作業で、若林地区は海



# 福岡教区の東日本大震災現地ボランティア活動に参加



閑上中学校

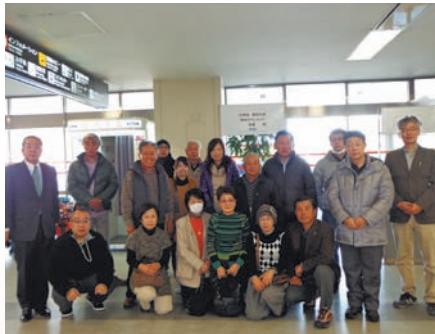


岸線より2kmくらいの場所にあり、津波被災を受けた畠の瓦礫取り出し、畠の掘り起しを行い、住民が帰ってきてからすぐ農作業が出来るように支援作業を行いました。三日目(22日)は、経済復興の一助になるよう被災地の石巻、女川を訪ね、仮設の物品販売店を廻りました。被災地で商品購入することにより、被災された方々への直接の経済支援につながるということで、様々な地産品を買い求めました。

今回の参加で、被災地は今も瓦礫が片付いただけで、復興にはまだ程遠く、津波被災で家族を亡くされた方々の悲しみに寄り添い、思いを分かち合うことはもちろん、復興支援を如何に継続していくことが必要であるかと考えさせられました。



ボランティア活動風景



**初体験**

六年 黒田 幸奈  
七月二十六日、京都の西本願寺に行きました。私自身、世界文化遺産というような日本のすばらしい所に行くのは初めてでした。

**国宝の対面所（鴻の間）**

は、柱と柱の間の長さがちがう不思議な部屋でした。すくめの間は、本当の数より二羽少なかつたです。かかれたすくめが本物のようだったので、鳥になり飛んでいましたという説があるそうです。私はその事を聞いた時、半信半疑でしたが、しだいに本当にかなってきました。中庭は葉っぱでできた鶴と亀がありました。

食前の言葉と食後の言葉を言う事によって食への感謝・思いも強まりました。私達人間は食べ物を食べら

れるという事に感謝をもなければいけないという事を学びました。仏教の事をまだ学び、色々知りたいと思いました。

六年 田中 唯奈

私は一ぱく一日の旅行でU.S.J.に行きました。U.S.J.は、班行動でした。まず最初に乗ったのは『スパイダーマン・ザ・ライド』を乗りました。スパイダーマンには3Dなのでこわかったです。次に『バックトゥーザフューチャー』です。これもこわかったです。次は『宇宙』をテーマにした乗り物です。班のお姉ちゃんが楽しいっていったけど実際こわかったです。でもこわかったけど二回乗りました。最後は『ジョーズ』です。面白かったです。U.S.J.はこわかったけど楽しかったです。



私は一ぱく一日の旅行で本願寺に行きました。朝五時におこされました。私はねむたかったです。そして本願寺に五時四十五分ごろにつきました。六時に本願寺で、おきょうを読みました。一時間せいざをしたことがなかつたので足がしびれて立てなかつたです。そして本願寺の中を見学しました。ふだん見れない所も見学しました。豊臣秀吉の別荘を見ました。楽しかったです。いい体験ができました。

# 子ども本山参拝 一泊研修会



お盆を除き、毎月の法座でお斎を出します。地区担当の方々が中心になって季節の野菜を使って作つて下さっています。お斎の時間は和気あいあいとおしゃべりをするのが皆さんの楽しみになっています。



♦ おしながき ♦

- ・ご飯
- ・酢の物
- ・味噌汁
- ・漬け物
- ・煮物(7種)

大規模葬から家族葬まで…  
もしもの時に安心な…互助会会員募集中

(株)のがみ 善光会館 筑紫会場

筑紫野市杉塚6丁目11-1 Tel 921-4242(代)

おてての しわとしわを あわせて しあわせ なーむー



お仏壇・墓石  
**はせがわ**

靈園・墓所・墓石のご相談も承ります。  
太宰府インター店 太宰府インター グッディそば ☎ 092-503-0800



お勤めの後、法話の前に草場一壽さん著「いのちのまつり」という絵本を、プロジェクターでスクリーンに映し出し、部員たちで朗読しました。いのちのつながりを教えてくれる内容になっており、自分のいのちも人のいのちも無数のいのちに生かされていたのだと気づかれる本です。

今回の子ども報恩講は、二月二十六日に筑紫野市平等寺の光伝寺で行いました。天候もよく、多くの子どもたちに参加していただきました。

光伝寺の御門徒の方々に協力をしていただき、子どもたちと楽しく餅つきができました。

## 子ども報恩講

御笠組青少年育成部部長  
慶伝寺若院 久保 龍道



<b>法 律 相 談</b> 初回相談無料 毎週月曜日～金曜日 午前8時半～午後6時 <b>相談専用電話</b> (092)716-1034 <small>※弁護士が相談に応じます ○プライバシーは必ず守られます。 問い合わせ 福岡教区教務所 (092)771-1908</small>	<b>ピハーラ・ライン・福岡 この電話</b>  ハートで 話しませんか? <b>相談電話</b> [092]711-1432 <small>毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除く 午後1:00～午後4:30 プライバシーは守ります (相談内容) 浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会福岡支部</small>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

漆

歴史と伝統の技で創る…仏壇・寺院用品

(株)福岡 仏掌堂

〒815-0075 福岡市南区長丘1丁目9-1 TEL(092)561-7070㈹  
FAX(092)561-8463  
〔工場・夢工房〕福岡県八女市室岡1299 TEL(0943)24-2110



誠心誠意を大切にします。もしものとき…



筑紫農業協同組合 (JA筑紫 共栄会 やすらぎ会館)

〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南2-1-3  
TEL(092)924-3027/FAX(092)928-1394



組合員・NEWにじの会 会員募集!!

未曾有の災害をもたらした東日本大震災から早や二年になろうとしています。この大震災は、多くの生命と財産を奪うとともに、命と財産を奪うとともに、地震と津波による瓦礫の山が「目に見える恐怖」を与える放能漏出という「目に見えない恐怖」が襲い、我々に明日は何が起こるかわからないこの世の無常を再認識させた出来事でした。

それ以来私は「明日ありと思う心のあだ桜」夜半に嵐の吹かぬものか」という親鸞聖人の歌を思い、突然の死と隣り合わせにある「相続」について考へようになりました。

我々はいつか死を迎える。いつ、どこに住き、何に生まれるか眼に見えるものとは何かを考える機会を与えられ、相続という現実的な問題に直面します。

うに両親、子、兄弟姉妹が一度に亡くなるケースでは、権利関係はさらに複雑化します。疎遠な方々が葬儀などの祭祀を継承し、復興ままならない状況のなかで相続問題を処理しなければならないからです。

えその煩わしさに相続を放棄した方や、いまだ遺体が見つからず、ただつらい現実を受け入れている方もさて、最近よく「相続」において「争族」を生み、「争続」になると言われる原因はどこにあるのでしょうか。

様々な理由が考えられます。戦後の自由平等主義により相続人の権利意識が高まつたこと、親と子、兄弟姉妹間のコミュニケーションの欠如、そして何より相手の立場を思

うに両親、子、兄弟姉妹が一度に亡くなるケースでは、権利関係はさらに複雑化します。疎遠な方々が葬儀などの祭祀を継承し、復興ままならない状況のなかで相続問題を処理しなければならないからです。

うに両親、子、兄弟姉妹が一度に亡くなるケースでは、権利関係はさらに複雑化します。疎遠な方々が葬儀などの祭祀を継承し、復興ままならない状況のなかで相続問題を処理しなければならないからです。

ことにあります。遺された財産が実家の不動産だけの場合、誰が管理するか、貸すか、売るか、利益分配や税金をどうするか、相続人間に歩み寄る気持ちがなければ、親族はいつか争族と化し、争いは長く続くことになります。遠縁同士なら尚更のことでしょう。

本来相続とは、単に財産を承継することではなく、亡き人の目に見えない遺志を引継ぐことです。そこには亡き人の残された人にに対する願い、つまり遺産争いなどせず、生かされていることに感謝して、皆で協力して円満に生きてほしいとの想いがあるのです。

目に見える財産は今生きるいのちのバトンを譲り受けた物に過ぎません。争いなど望まない亡き人にはあります。いつづく今、自分にできる事が何なのかを、考えさせて貰います。

新組報2号目の発行となりましたが、前号とともに引き続きご意見ご感想をお待ちしております。

## 相続・争族・争続

明福寺門徒 八尋 正喜（釋正蓮）

本願力に

あひぬれば

…  
2

もに生きる相手を思えることができる、相続人間における諍（いさか）いも少なくなるのではないかとも思います。

最後に  
「相田みつ」さんの言葉から：

『うばい合えば足らぬ  
わけ合えばあまる  
うばい合えば憎しみ  
わけ合えば安らぎ』

### 編集後記

今回の48号では、東日本大震災について大きく掲載させて頂きました。

この震災によりたくさんの方々の苦しみ痛み悩みが日本中に発生した事、その苦しみが未だに解決するどころか目に見えない「私たち」で膨らんでいる様に、私は感じております。

つくづく今、自分にできる事が何なのかを、考えさせて貰います。

**お仏壇のよーかど**  
お仏壇・仏具のご相談はお電話を！  
筑紫野市二日市中央通商店街  
☎092-924-1111

~大切な人を送る時、私たちができること~



ご葬儀を真心込めてお手伝いします  
有限会社 筑紫葬祭  
葬祭式場 セレモニー 筑紫  
本社/〒818-0072 福岡県筑紫野市二日市中央3丁目2-21  
TEL 092-925-4444代  
セレモニー筑紫/筑紫野市塔原東4丁目3-5 TEL 092-924-5177